

今も昔も暮らしの要

# 進化し続ける王寺駅前

かつて、王寺駅は北側からしか入ることができず、駅の南側に住む人は、踏切や跨線橋からまわって線路を越えなければなりません。その不便さを解消するために完成したのが久度大橋です。その後、南側にも駅前広場がつくられ、駅舎が橋上化され、駅北側の広場や商店街も再開発されました。王寺駅はどんどん便利になっています。



南駅前広場 [昭和 50 (1975) 年頃撮影]



久度大橋 [昭和 58 (1983) 年撮影]



駅前ロータリー [平成 25 (2013) 年撮影]

## 王寺駅南側

昭和 48 (1973) 年に王寺駅周辺の都市基盤づくりとして、駅南側の整備が始まりました。大型店舗や銀行、病院等が誕生し、以来、まちのくらしの拠点として発展し続けています。



## 王寺駅北側

平成 15 (2003) 年にリーベル王寺が完成し、駅北側エリアの様子も大きく変わりました。駅の北側も南側も利便性に優れ、人々が行き交う活気あるエリアとなりました。



奈良へも、大阪へも。  
アクセス抜群!



## 王寺大橋完成

平成 20 (2008) 年 3 月、王寺大橋の完成で国道 25 号から、整備された南駅前広場へ直接乗り入れができるようになり、周辺道路の渋滞や混雑が緩和されました。

## 駅前開発で

町がさらに便利に

## 久度大橋

昭和 49 (1974) 年完成当初の久度大橋です。屋根は設置されていません。この 4 年後の昭和 53 (1978) 年に写真左上に見えるホーム連絡橋に駅舎が接続されました。平成 13 (2001) 年に屋根とエスカレーターが完成し、現在の姿になりました。今も駅の北側と南側を繋ぐ架け橋です。